



ある子ども

ローリー作 しまづ 島津やよい訳 しんひょうろん 新評論

結婚・出産・職業に感情さえも管理されているコミ
 ユニティで、クレアは、へ出産母へ、通称「エイレモノ」
 に任命された。授精の施術をうけ、一四歳で出産した
 が、〈産物〉である息子と会うことはできない。クレア
 に、はじめて強い感情、子を思う気持ちが芽生える。
 ある日へえらばれた者へ「ジョナス
 が息子をつれさった。クレアは、ふ
 たりを追いコミユニティのそとへ。
 さまざまな世界を描き、自由に生
 きていくことの喜びを問う。『ギ
 ヴァー』シリーズ4部作完結編。

